

004 ロゴス Ⅱ (ヨハネによる福音書 1:14~18)

▶ヨハネによる福音書 1:14

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

→言：ロゴス（ギリシア語）＝メムラ（アラム語）＝メシア（ヘブライ語）＝キリスト（ギリシア語）

→肉となって：神性に完全な罪のない人間性が付加された⇒受肉（Incarnation）

→わたしたち：ヨハネを含む信者、目撃者

→宿られた：スケイノオウ（ギリシア語）＝幕屋を張った＝ロゴス（神性を持たれた方）が人性（幕屋）の中に宿られた。

→独り子：ひとりご＝モノゲネイス（ギリシア語）、父のみもと（御許）から来られた御子

→恵みと真理とに満ちていた

①恵み：ヘセッド（ヘブライ語）＝神の契約への忠実さ、愛

②心理：エメット（ヘブライ語）＝揺るがない方

▶ヨハネによる福音書 1:15

ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。』

▶ヨハネによる福音書 1:16

わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。

→Out of his fullness we have all received grace in place of grace already given.

▶ヨハネによる福音書 1:17~18

律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

▶言：ロゴス（ギリシア語）＝メムラ（アラム語）＝メシア（ヘブライ語）＝キリスト（ギリシア語）

①ヨハネによる福音書 1:1

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

→言は、神とは別の存在であるが、神と同格のお方である。

②ヨハネによる福音書 1:3

万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。

→言は、天地創造に参加された方である。

③ヨハネによる福音書 1:12

しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。

→言は、救いの仲介者（代理人）である。

④ヨハネによる福音書 1:14

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

→言は、神の栄光の現れ（シャカイナグローリー）である。

⑤ヨハネによる福音書 1:17

律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。

→言は、契約の仲介者である。

⑥ヨハネによる福音書 1:18

いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

→言は、啓示の仲介者である。